



Vol.5

発行：
平成19(2007)年4月



目次

- 1 「かわさき生ごみリサイクルプラン」ができました！
- 2 チャレンジ・3R特集
資源集団回収の推進に向けて
- 3 ミックスペーパー分別収集モデル事業の進捗状況
- 4 古着類の拠点回収モデル事業のお知らせ
- 5 その他

「かわさき生ごみリサイクルプラン」ができました！

～ 楽しくチャレンジ生ごみダイエット！～

川崎市では、平成17年度から市内で発生する生ごみ等のリサイクルシステムの構築を目指して、小学校の給食残さの堆肥化や大学との共同研究などの生ごみリサイクルのモデル事業に取り組んできました。モデル事業の成果や市民・事業者の皆さんのご意見等に基づき、平成19年2月「かわさき生ごみリサイクルプラン」を策定しました。

「プラン」は、市民・事業者・市が協働しながら、生ごみの発生抑制・排出抑制に努め、それでも出てくる生ごみは資源として有効活用していくことで、持続可能な循環型の生ごみリサイクルシステムを構築することを目指しています。

今後、「プラン」に基づいて、生ごみリサイクルの推進に向けた取り組みを行っていきます。

生ごみリサイクルに向けた取り組み 第1弾

● 電動生ごみ処理機等の購入費助成制度が変わりました！ ●

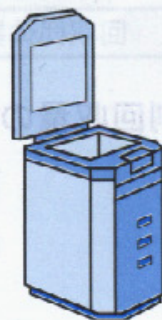
川崎市では、電動生ごみ処理機等の購入にあたり購入費の助成を行ってきましたが、平成19年4月から助成額がアップ、更に利用しやすくなりました。

★ 電動生ごみ処理機や生ごみコンポスト化容器等の購入費を最大で**2万円まで**助成します。

助成金額 購入金額の **2分の1** **限度額** **2万円**

(例えば、5万円の電動生ごみ処理機を購入した場合は限度額の2万円を、1万円のコンポスト化容器を購入された場合は5千円を助成します。)

★ 生ごみコンポスト化容器については、従来の「生ごみコンポスト化容器指定販売店制度」が廃止され、どの店で購入しても助成の対象となりました。



この機会に、電動生ごみ処理機等の購入を考えてみてはいかがでしょうか。
詳しくは、廃棄物政策担当(044-200-2605)までお問い合わせください。

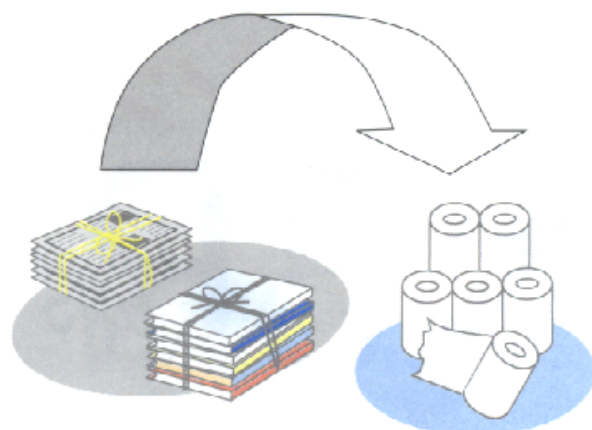


チャレンジ・3R特集

資源集団回収の推進に向けて

市内で発生する古新聞、古雑誌等の再資源化については、市内の町内会や自治会、PTA等の協力により資源回収業者を通じて資源物の回収・リサイクルを行う「資源集団回収」事業が行われており、資源集団回収事業による資源化量は約2万6千トン（平成18年度実績）にのびります。

川崎市では、資源集団回収団体等に助成金を交付するなどして、資源集団回収事業のより一層の推進に努めています。



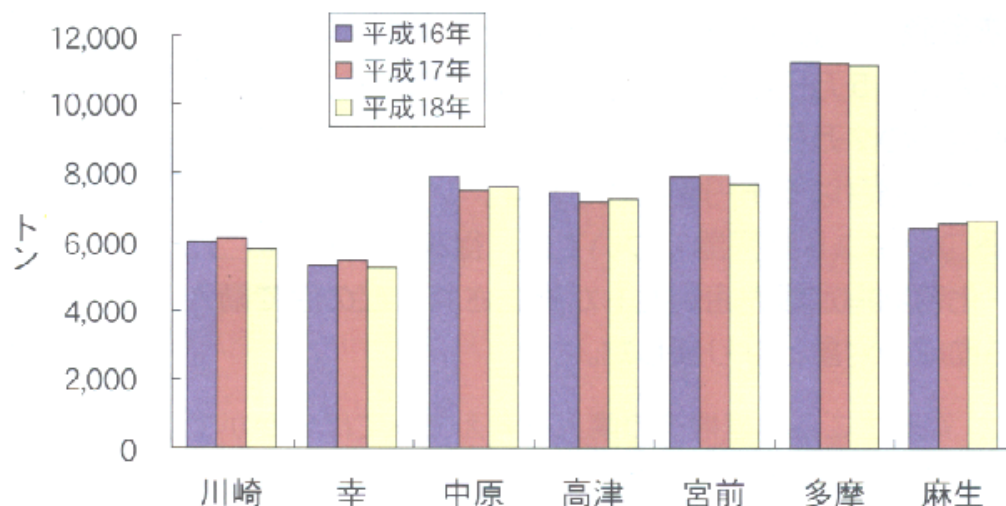
平成18年度の資源集団回収実績（速報）

平成18年後期分の回収量は平成17年後期分と比べて新聞回収量が減少したため、合計で383tの減少となりましたが、雑誌、ダンボール、古布類に伸びが見られました。活動団体数は35団体増えているので、今後、資源集団回収によるリサイクル量の増加が期待されます。



		平成17年後期	平成18年後期	増 減
古紙類	新聞	17,903 t	17,218 t	▲685 t
	雑誌	5,590 t	5,714 t	124 t
	ダンボール	2,691 t	2,804	113 t
	牛乳パック	44 t	23 t	▲21 t
	その他	3 t	3 t	0 t
	（古紙類計）	26,232 t	25,763 t	▲469 t
	古布類	279 t	365 t	86 t
	生きびん類	15 t	15 t	0 t
	回収量総計	26,526 t	26,143 t	▲383 t
	回収団体数	999 団体	1,034 団体	35 団体

区別回収量の推移（平成16年～18年）



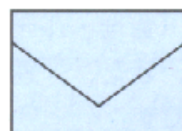
●ミックスペーパー分別収集モデル事業の進捗状況●

平成18年11月から川崎区の浅田3・4丁目、幸区の戸手本町1・2丁目にお住まいの方々のご協力を得て、ミックスペーパー（雑かみ）の分別収集モデル事業を行っています。また、平成19年4月からは川崎区大島1丁目、京町1・2丁目、殿町1・2・3丁目、幸区小倉でも行います。ミックスペーパーの分別収集地域については、今後順次拡大していく予定です。

モデル事業実施町名	川崎区浅田3、4丁目	幸区戸手本町1、2丁目
実施世帯数	約1,800世帯	約2,400世帯
収集量 (kg) ※平成18年11月 ～平成19年3月	7,110kg	17,750kg
1日・世帯あたり (g)	32g	53g

ミックスペーパー（雑かみ）とは・・・

菓子箱、包装紙、ハガキ、封筒、写真、感熱紙、トイレットペーパーの芯、シュレッダー紙などの紙



対象外となるものは・・・

◆汚れがついた紙
(使用済みのティッシュ、紙おむつ等)



◆臭いのついた紙
(石鹸、洗剤、線香の紙箱等)



◆資源集団回収や店頭回収の出す紙
(新聞、雑誌、ダンボール、牛乳パック)



●古着類の拠点回収モデル事業のお知らせ●

ご家庭で不要となった古着類を市の生活環境事業所で回収します。

回収した古着類は、主に東南アジア諸国に輸出し、リユースされます。また、ウエス等に加工され工場などでも使用されます。

古着類も大切な資源として有効活用されますので、古着類の回収にご協力ください。

<回収日> 平成19年6月1日(金)～平成19年6月9日(土)
(6月3日(日)は回収しません。)

<回収時間> 9時30分～11時30分

<回収場所> ・南部生活環境事業所 (川崎区塩浜4-11-9 電話266-5747)
・川崎生活環境事業所 (川崎区堤根5-2 電話541-2043)
・中原生活環境事業所 (中原区中丸子1-5-1 電話411-9220)
・宮前生活環境事業所 (宮前区宮崎1-7-2 電話866-9131)
・多摩生活環境事業所 (多摩区梶形1-14-1 電話933-4111)

<回収するもの>

Tシャツ、Yシャツ、下着類、ジーンズ、スラックス、靴下(破れていない左右揃ったもの)、ネクタイ、ハンカチ、スカーフ、つばのある帽子(ニット製、制帽は除く)、着物、和服(どてら、丹前は除く)など。

※ 汚れているもの、破れているもの及び冬物衣類は回収しませんので、ご注意ください。

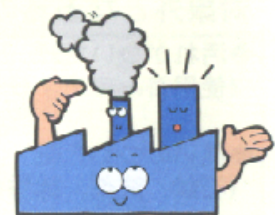
詳しくは廃棄物政策担当(電話200-2579)までお問い合わせください。



ちょっと一息…

「エコロジー」と「エコノミー」の微妙な関係 ご存知ですか？

- 巷に「エコ」という言葉が溢れていますが、「エコ」って何かご存知ですか。一般的に自然にやさしいこと全般を示す言葉として、「エコロジー」（生態学・生態系）を短縮した「エコ」が使われていますが、実は意外と奥の深いうちが隠されています。
- 「エコロジー」の語源を詳しくたどってみると、もともとギリシャ語の「オイコス」（家）と「ロゴス」（考える）をあわせた造語で、本来は「家について考える」ことを意味するものだったようです。
- 言い換えると、「家」が居心地よい状態にあるよう心配りすることが「エコロジー」のはじまりといえます。例えば、ごみで溢れた「家」は決して居心地よいものではありません。「家」を居心地よくするために、定期的に家のごみを片付けて、清潔に保つだけでなく、ごみ置き場の管理などにも気を配らなければなりません。こうした考え方を私たちの住む「自然環境」や「社会」に拡大したものが今使われている「エコロジー」という訳です。
- さて、私たちの生活に深く関わっているもうひとつの「エコ」、「エコノミー」（経済）という言葉も、実は「エコロジー」と同じくギリシャ語の「オイコス」（家）と「ノモス」（管理・ルール）という言葉からできた造語で、本来は「家を管理する」こと、また、「家を管理するためのルール」といった意味から出発した言葉だそうです。
- 「エコロジー」も「エコノミー」も、ともに「家」＝「オイコス」を語源に持つ言葉で、ともに居心地のよい「家」のあり方を目指しています。
- 二つの「エコ」の微妙な関係を、私たちが生活の基本としている「家」に置き換えて、私たちが現在生きている「環境」や「経済」が本来どうあるべきなのか、また、私たち一人ひとりがどのように行動したらよいのか、あらためて考えてみてはいかがでしょうか。



ごみの減量・リサイクルに役立つ情報をお待ちしてます。!

平成17年度に発行を開始した3Rニュースも今年度で3周年を迎えます。3Rニュースでは、市民の皆さんが日々行っている、ごみの減量・リサイクルに向けた取り組みについても広く紹介していきたいと考えています。ごみの減量・リサイクルに役立つ情報、町内会等で行っているユニークな取り組み等ございましたら環境局廃棄物政策担当までどしどしお寄せください。

ごみ減量・リサイクル推進の ボランティアリーダー

廃棄物減量指導員にご協力ください。

廃棄物減量指導員は市長から委嘱され、ごみ排出方法の遵守指導や、ごみ減量の普及啓発などの活動を行っている地域のボランティアリーダーです。



編集後記

先日、中国の留学生50名ほどを相手に川崎市の廃棄物事情をお話する機会がありました。講義が始まる前はワイワイガヤガヤ、普通の学生さんだと思いました。講義が始まるとたくさんの熱い視線が私に突き刺さります。思わず一瞬たじろぐ私。自分が学生だった頃、こんな熱い視線を教壇に送っただろうか。負けるものか。こちらも熱くなって思い切りごみ事情を語ってきました。帰り道、寒風が熱くなった頭を冷やしてくれて気持ちのよい一日となりました。（K）

編集・発行／〒210-8577（住所はなくても届きます）川崎市環境局廃棄物政策担当

（電話）200-2580（電子メール）30haise@city.kawasaki.jp

ごみ・リサイクルに関するHP/<http://www.city.kawasaki.jp/30/30genryo/home/menu.htm>

R100
資源100%再生紙 100%再生紙印刷

—— もったいないからはじめよう！ チャレンジ・3R ——